

本号では、「鉄道の新しい状態監視技術」を特集しました。鉄道では、これまでも機械化や自動化、オペレーションの適正化により効率性や安全性の向上がなされてきました。この効率性と安全性の向上は、ゴールのない半永久的な課題ではありますが、課題解決へ一歩でも近づく努力が地道に続けられています。本号の特集記事は、いずれも実用化を目指した新技術の開発であり、今後、さまざまなフィールド試験などをおして実用性が向上していくことが期待されます。「イノベーション」という言葉が語られるようになって何年か経ちますが、その和訳として「技術革新」という言葉が時々充てられます。この「技術革新」には、時として、単なる新技術の開発だけでなく普及ま

でを含めた幅の広い過程を含むと言われていることから、普段、何気なく使っている「イノベーション」、「技術革新」には、「普及」という概念も重要であると考えられます。今回紹介したさまざまな状態監視技術が「普及」にまで至り、将来の鉄道システムに大いに貢献することを信じたいと思います。

次号の特集は「巨大地震から鉄道を守る」です。東北地方太平洋沖地震から間もなく5年になります。最近の地震研究の動向に加え、将来発生が予想される巨大地震に対して鉄道の安全性を確保するための研究開発などを紹介します。どうぞ、ご期待下さい。(M.M.)